

# 令和6年度大阪府食品ロス発生動向等解析調査業務報告書の概要

## (1) 目的

本業務は、「大阪府食品ロス削減推進計画」の見直しにあたり、大阪府が今後総合的に食品ロスを削減するための基礎資料として、大阪府域における食品ロスの発生量を事業系、家庭系毎に推計するとともに、推計の過程から考えられる食品ロス削減の特性及び課題について取りまとめることを目的とする。

## (2) 推計対象

- ◎事業系：府内での食品産業（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）から排出される食品ロスの発生量
- ◎家庭系：府内の家庭から排出される食品ロスの発生量

## (3) 推計対象年度

2000年度、2022年度、2025年度、2030年度の4か年

## (4) 推計方法

### ◎事業系

食品卸売業、食品小売業、外食産業については令和3年度（2021年度）、令和4年度（2022年度）の大阪市「事業系一般廃棄物排出実態調査報告書」から1事業所当たりの発生量を算出し、府内の事業所数を乗じることで業種毎の発生量を推計した。

食品製造業については国の令和3年度（2021年度）、令和4年度（2022年度）の「食品リサイクル法に基づく定期報告」、「食品循環資源の再生利用等実態調査」から推計した。

大阪府内の定期報告対象事業者（食品廃棄物等の発生量が年間100トン以上の食品関連事業者）は報告値から推計し、定期報告対象以外（食品廃棄物等の発生量が年間100トン未満の食品関連事業者）の事業者については全国の値を用い拡大推計した。

### ◎家庭系

大阪府内市町村の生活系ごみの調査結果から人口規模別に1人1日当たりの食品ロス発生量の平均を算出し、各市町村の人口と年間日数を乗じて、合計することで大阪府の発生量を推計した。

## (5) 推計結果（食品ロス量）

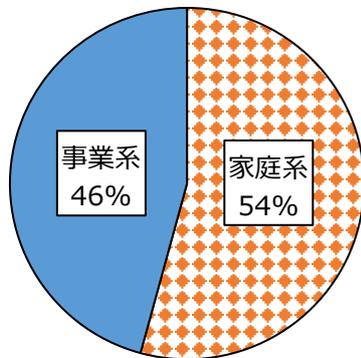
事業系食品ロス量、家庭系食品ロス量の推計結果は下記のとおりである。

### 府内の食品ロス量

(単位：万トン/年)

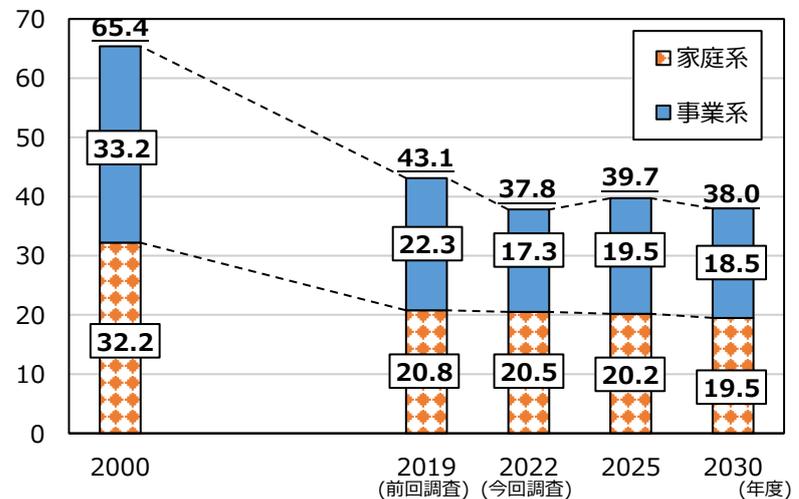
|     | 2000 年度 | 2019 年度<br>(前回調査) | 2022 年度<br>(今回調査) | 2025 年度 | 2030 年度 |
|-----|---------|-------------------|-------------------|---------|---------|
| 事業系 | 33.2    | 22.3              | 17.3              | 19.5    | 18.5    |
| 家庭系 | 32.2    | 20.8              | 20.5              | 20.2    | 19.5    |
| 合計  | 65.4    | 43.1              | 37.8              | 39.7    | 38.0    |

### 府内の食品ロス量（2022 年度）



(万トン/年)

### 食品ロス量（推移）



※点線は各年度を直線で記入

⇒2022 年度では、事業系が約 17.3 万トン/年、家庭系が約 20.5 万トン/年という結果になり、円グラフのとおり、家庭系が占める割合がやや多くなった。

⇒2022 年度の事業系は大幅に減少した。この現象は新型コロナウイルスの影響も考えられるため、2025 年度には影響が小さくなり、再び増加する見込みとなっている。

## (6) 全国と大阪府との比較

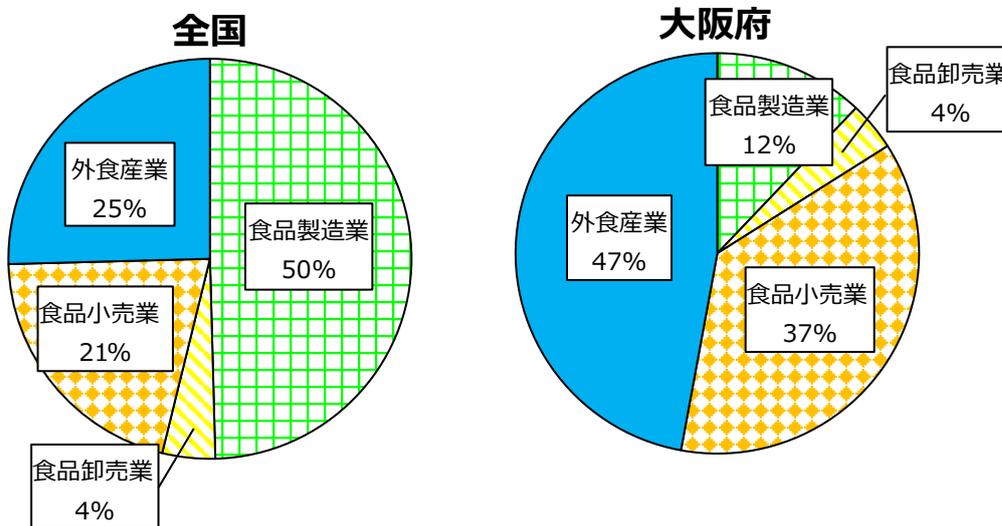
### ◎ 事業系

2022 年度時点の全国と大阪府の事業系食品ロス量について、それぞれの業種で比較した。

全国と大阪府の事業系食品ロス量の比較（2022 年度）

（単位：万トン/年）

|       | 全国  | 大阪府  |
|-------|-----|------|
| 食品製造業 | 117 | 2.1  |
| 食品卸売業 | 10  | 0.7  |
| 食品小売業 | 49  | 6.4  |
| 外食産業  | 60  | 8.2  |
| 合計    | 236 | 17.3 |



⇒全国は「食品製造業」が占める割合が高いが、大阪府は「食品小売業」及び「外食産業」が占める割合が高い。

### ◎ 家庭系

2019 年度と 2022 年度の全国、大阪府の家庭系食品ロス量についてそれぞれ比較した。

全国と大阪府の家庭系食品ロス量の比較（単位：万トン/年）

|         | 全国         | 大阪府         |
|---------|------------|-------------|
| 2019 年度 | 261 (100%) | 20.8 (100%) |
| 2022 年度 | 236 (90%)  | 20.5 (98%)  |

※ ( ) 内は 2019 年度を 100%としたときの 2022 年度の割合

⇒2019 年度から 2022 年度の家庭系食品ロス量は大阪府と比較し全国の減少率が大きかった。